



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 10
令和7年12月25日

「一意専心」で

校長 栗 まゆみ

2学期の終業式を迎え、今年も残りわずかとなりました。

運動会や音楽会という大きな学校行事があった2学期。子供たちは、自分の「めあて」を達成するために、日々努力を積み重ねていました。運動会でも、音楽会でも、「一意専心」で取り組んでいました。友達と一緒にのときでも、一人でも、あきらめずに、粘り強く、そして励まし合いながら頑張っていた子供たちはとても立派でした。当日は、多くの保護者・ご来賓の皆様にご覧いただきました。ご家庭でも、子供たちが力を発揮できるよう、励ましご協力いただいたこと、心より感謝申し上げます。一人一人の子供たちが、精一杯頑張る姿・表現する姿は、見ている人に感動を与えてくれました。

子供たちの「よりよくしたい」という思いが行動をおこし、その行動を振り返りながら、次への見通しをもって、改善していく…。これは、「OECD ラーニングコンパス 2030」にも示されている「よりよい未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー(高い成果を出している人に共通して見られる、優れた行動特性や思考パターン)」の学習サイクルです。

学校では、子供たちがこの学習サイクルを意識し、「一意専心」の気持ちで、様々な活動に取り組めるよう、指導・支援しています。自分だけではなく、周りの人や環境を思いやり、よりよい未来を創るために、自分で考え、行動できる人になってほしいと思います。

本日、子供たちは通知表を持ち帰ります。ご確認いただき、頑張ったことをたくさんほめてあげてください。そして、色々お子さんと話をしてみてください。

今年の冬休みは13日間です。ご家族の皆様でよい時間をお過ごしください。

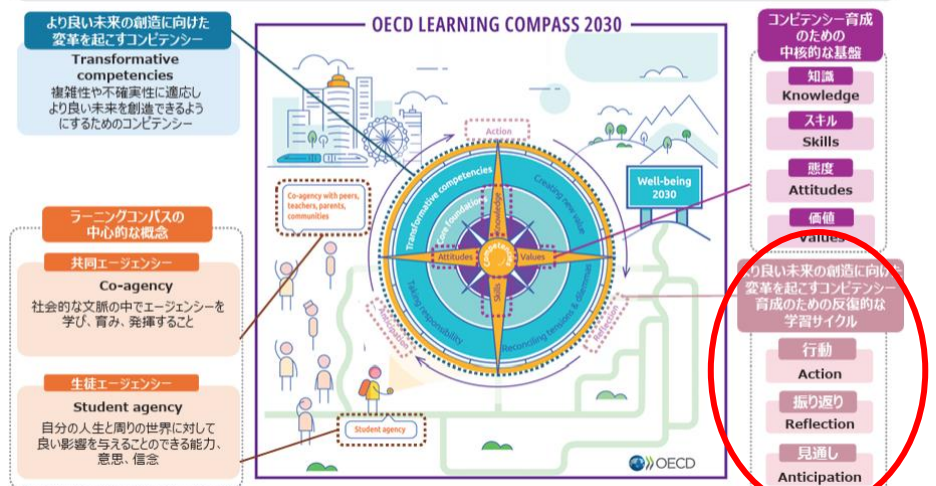
1月8日(木)に、元気な子供たちに会えるのを楽しみにしています。

◆冬休みの「か・き・く・け・こ」◆

「か」・・・家族のお手伝いをする
「き」・・・規則正しい生活をする
「く」・・・車に気を付けて、交通安全を守る
「け」・・・計画を立てて生活すること
「こ」・・・今年の目標を決めること
この「か・き・く・け・こ」を大切にして楽しい冬休みを過ごしてください。

OECDにおける「態度や諸価値・非認知的能力」の位置づけ

- OECDのラーニング・コンパス※では、自分の人生と周りの世界に対して良い影響を与えることのできる能力である「生徒エージェンシー」と、それを社会的な文脈の中で学び、育み、発揮する「共同エージェンシー」を中心的な概念として示す。
- これらのエージェンシーを発揮し、自らの可能性を発揮できる方向に進むためには、「カリキュラム全体を通して学習するために必要となる基礎的な知識、スキル、態度及び価値」といったコンピテンシー育成のための中核的な基盤や、「よりよい未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー」を備える必要があるとされている。



※：OECD Future of Education and Skills 2030プロジェクトにおいて作成された、教育の未来に向けての望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の姿を表現する図。